



市営住宅の入居には必ず1名の連帯保証人が必要

急がれる雇用対策と生活支援

◆派遣切り労働者の支援を

問 雇用状況は深刻。再就職できず、生活が逼迫しているとの相談が相次いでいる。生活保護の申請から決定までをより短縮し、決定までの期間、資金貸付などの対応は可能か。派遣切り対策で確保の市営住宅は1年という期限付きなのに、風呂の設置は当事者、連帯保証人が必要となっている。要件緩和の考えは。(鈴木)

答 緊急を要するケースでは決定を早めるようにしている。生活保護申請者であっても暮らしの資金貸付ができるよう福祉事務所として社協と連携



塩尻高等職業訓練校 (広丘高出)

をとつていく。市営住宅入居では、たとえ期限付きであっても1名の連帯保証人は必要。◆緊急雇用対策を有効に

問 国の平成21年度補正予算に組み込まれた緊急人材育成就業支援基金の活用方法、塩尻高等職業訓練校は対象になるか。(中村)

答 新規成長や雇用増が見込まれる分野の訓練を行うことや、受講者への生活費給付、実習型雇用を受け入れる中小企業への助成、長期失業者等への再就職・生活支援である。塩尻高等職業訓練校は確認中だが、可能であれば積極的に活用したい。

◆雇用対策の拡充を

問 国の緊急雇用創出事業を受けての取り組み状況と雇用創出見込みは。(古畑)

答 市や市が委託した団体等による11事業で55人の雇用を予定している。今後も雇用創出に努力していく。

商業振興でまちの活性化を

◆漆器を生かした展示の推進

問 漆器を現代生活に生かした「和風モダン」なテーブルコーディネートが注目されている。今後「漆器に合う料理大賞」をはじめ市内の行事に展示してPRすべきと考えるがどうか。(丸山)

答 テーブルコーディネートは伝統工芸の潜在力も引き出し、作り手と使い手が出会う場を演出する効果的なアイテムである。今年の漆器祭でも



5月に行われた「漆器に合う料理大賞」の調理、盛りつけの様子

展示した店があり、行事等で取り組めるか実行委員会等で検討してもらうよう提案をしていく。

◆地域振興バスの充実を

問 来年4月のダイヤ改正はどのように考えているのか。(古畑)

答 現行の運行形態を基本的に利便性の向上をめざし、必要に応じ、経路やダイヤ、バス停の変更など改善していく。

◆増便の考えは。(古畑)

答 全体の中で検討していく。

◆プレミアム付き商品券

問 更なる振興対策として再発行の補助を願うが。(森川)

答 商業連絡協議会が効果の検証を行う予定と聞いている。その結果を踏まえ検討したい。

◆入札制度の見直しを

問 経済環境悪化対策や低入札の規律及び調査基準価格を



プレミアム付き商品券の効果の検証を